

奄美×しまじかん(水が青く透き通っていて綺麗な様子)を表しており、奄美の魅力を伝えるだけでなく、SDGs目標達成に繋がるアクションを行うという意味が込められています。

2月に徳之島へ訪問させていただきました!

TREKKING TOUR

今回の滞在中に天城武松原登山道に登るトレッキングツアーに参加しました!

ガイドさん同行のもとで安全に案内をしていただき、全身で亜熱帯の自然を感じることができました。

安全に楽しむために、その土地を理解しているツアーガイドの同行をおすすめします!

ガイドなしでは入ることのできない場所もあるので事前に確認をしましょう

私たちが掲載する内容以外にも自然遺産に登るために気をつける点は多くあります。詳しくは、トレッキングツアーを行う際にその場所の注意事項を確認してください。

立ち入り前 登山中 登山後

- 外来種が山に入り繁殖するのを防ぐために靴裏を洗いましょう
- 動きやすく肌を守る格好で虫刺され防止のために長袖、長ズボン必須!
- 国立公園なので、動植物の採取や持ち帰る行為は禁止です!
- ハブや毒のある植物は触らない近寄らない
- コースを外れない! 整備されている道を通ろう!
- 貴重な生物の写真をSNSに上げる際は位置情報に注意! 写真の位置情報をもとに密猟される可能性があります ルールをしっかり守り自然遺産をみんなで守っていきましょう!

5~8月はウミガメの産卵期です

砂浜に上陸した母ガメや産まれたばかりの子ガメに強いライトを当てると、方向感覚を失い海に帰れなくなってしまいます

"静かに" "遠くから"

ライトを使用する際はウミガメが認識することのできない赤いライトを使って見守ってください!

赤いライト

ゴミをゴミ箱へ捨てよう!

私たちが徳之島に訪れた際、海の手すぐ側でたくさんのゴミが散乱しているのを目にしました

ポイ捨てされたゴミは、生き物たちに悪影響を及ぼします

"ゴミはしっかり分別してゴミ箱へ"

当たり前のことですが、一人一人の意識で綺麗な海を守りましょう

今回私たちは3泊4日で徳之島に訪れ、東京では見られないガジュマルやソテツなどたくさんの自然に触れることができました。目の前に広がる透き通った海、トレッキングツアーで味わったマチャラの滝など自然の生命力を目の前で感じる事ができ、貴重な経験になりました。また、現地の方々とお話し、徳之島への想いや人の温かさにも触れ、もっと島が好きになりました!そして、改めて自然を保護することや観光客としての行動の大切さを学びました。今回学んだ事を、私たちだけでなく、島外、国外からの観光客の方にも知ってもらえる、そして多くの方が同じ想いを抱いていただけるよう、今後も活動していきたいと思っております!

私たちは桜美林大学8M学群尾川ゼミに所属する9人組です!

SDGsを身近に感じてほしい一人でも多くの方が行動を起こしてほしい

という想いから活動しています

活動の様子はInstagramに記載されています!

もっと地球に優しい空港に「eGPU」初導入

JACは今年3月、鹿児島県内の全7空港(種子島・屋久島・奄美大島・喜界島・徳之島・沖永良部島・与論島)にバッテリータイプの電源車「eGPU」を日本の航空会社で初めて導入しました。世界自然遺産に登録されている屋久島・奄美大島・徳之島をはじめとした離島就航空港において、環境負荷を軽減し持続可能なインフラを整備するために導入しました。この取り組みは、JACと多摩川エアロシステムズが共同し、環境省の補助金を活用して実現したものです。

空港で待機中の飛行機へは通常地上から電源を供給する必要がありますが、これまで使用していた「ディーゼルエンジン式電源車(GPU)」は化石燃料が動力源のため排気ガスが発生していました。eGPUは排気ガスが出ず、静かで、且つエンジンによる振動もないため消耗品や故障頻度が少ないのが特徴です。災害時には、非常時の蓄電池としての活用も期待されます。

JACはこれからも脱炭素への取り組みを進めてまいります。



福岡空港より



本日もご搭乗いただきありがとうございます。今回は、九州最北端の福岡から福岡空港の様子をお届けいたします。

福岡空港は博多駅から地下鉄で約5分と利便性も良く、滑走路1本の空港としては国内で最も離発着の多い空港で、現在、2本目の滑走路を増設中です。国内線ターミナルは2020年にリニューアルし展望デッキや多くの商業施設があります。おすすめしたいのが、展望デッキと巨大ビアテラスです。展望デッキは滑走路が見渡せる開放的な空間と飛行機が間近を通過するのが見えるのでとても魅力的です。巨大ビアテラスは、展望デッキと一体化している空間なので、飛行機を眺めながら九州各地のおいしい食べ物を味わえる場所となっております、子どもから大人まで一緒に楽しめます。

福岡空港からのJAC路線は、出雲空港、屋久島空港及び鹿児島空港になります。機内までの案内はバスでの移動となります。そのバスでの移動中いろんな航空会社の飛行機を見ることもできます。また時々開催される空港内を移動しながら見物ができる「オープンバスツアー」(空ビル主催)もあります。

是非、おいしいグルメを堪能できる福岡空港にお越しください。お待ちしております!

福岡整備グループ 垣花

~表紙クイズの答え~ オキシャクナゲ

島根県沖60kmに浮かぶ隠岐諸島のうち、最大の島である隠岐の島町の固有花「オキシャクナゲ」でした。「山の女王」とも呼ばれるほど美しい花です。毎年、4月下旬から5月上旬にかけて、しゃくなげ祭りが開催されます。約1万本ものシャクナゲの花が満開に咲き誇り見ごろを迎えます。その他にも、固有の動植物が生息する隠岐諸島へ、ぜひ足を運んでみてください!

JAC公式Instagram開設しました!

JAC就航地やATRの魅力などを発信していきます。みなさん、是非、フォローしてください。

どうぞ、ご自由にお持ち帰りください。

2023春(トキワハゼ)

Vol.23

JAC NOW ~ゆいタイム~



クイズ: このピンクのお花の名前は何か?

(こたえは裏面へ)

皆さまへ

本日は、JAC日本エアコミューターをご利用いただき誠にありがとうございます。

JACでは奄美群島日本復帰70周年となる今年、奄美群島への運航便の搭乗時・降機時において、それぞれの島ごとにゆかりのあるアーティストの楽曲を機内BGMとしてお客さまにお届けしております。

お届けする楽曲は、奄美大島が元ちとせさんの「えにしありて(奄美大島自然保護協議会制作動画、「いのち、むきだし。奄美大島」ソング)」、喜界島は川知さおりさん「故郷の空」、徳之島は森田美咲さん「徳之島一切節」、沖永良部島が大山百合香さんの「永良部百合の花」、そして与論島が三沢あけみさんの唄う「与論島慕情(与論町制60周年&奄美世界遺産登録を記念したカバー曲)」です。観光のお客さまにはこれから始まる旅への期待を高めていただくとともに、奄美群島ご出身のお客さまには「故郷へ帰って来た」という実感をより高めていただきたいとの願いを込めております。

JAC便にて奄美群島を訪れる際は、機内BGMに耳を傾けていただくと、奄美群島のメロディーが、みなさまを温かくお迎えしてくれるような気持ちになるかもしれません。

日本エアコミューター株式会社 地域連携部長 上村 徹

読者アンケートのご案内!

機内誌「ゆいタイム」の読者アンケートにご協力をお願いします。QRコードからアクセス可能です。→

バックナンバーは、JACのホームページでご覧いただけます。(http://www.jac.co.jp/magazines/)



この紙は国産竹100%を原料に鹿児島県薩摩川内市で作られる「竹紙」を使用しています。木を切らず竹から紙を作る取り組みは、環境と森を守り、里山や生物多様性の保全、地域経済に貢献しています。



ビーチクリーンツアー@奄美群島(与論編)

鹿児島県奄美群島における環境保全および観光促進の両立を目指した「JALグループ社員と行く、世界自然遺産奄美トレイル&ビーチクリーンツアー」を、2023年2月に初めて実施しました。初回の目的地は、与論(ヨロン)! 鹿児島県内外の大学生19名に参加いただきました。今回は、その様子をレポートします。

1日目午後

与論空港に到着! 地元の観光協会から熱烈歓迎を受けました。



ホテルにチェックイン後は、まずは、島内観光!

ビーチでパシャリッ!

2日目早朝

早起きして、JACオリジナルエコキットを使ってゴミ拾い!

近隣諸国から流れ着いたペットボトルなどもありました。



2日目午前

地元のボランティアグループ「海謝美(うんじやみ)*」の皆さんと記念写真! このあと与論でエコツアーガイドとして働きながら、漂着ごみを回収する「拾い箱」の普及を通じて、海の環境保全に取り組んでいる池田龍介さんの特別授業も受けました。

*与論の住民有志でつくる海洋清掃のボランティア団体で、天気の悪い日以外は毎朝6時半から1時間海洋清掃をしています。



←これは何か分かりますか? ツアー中、与論のビーチでみつけたゴミ箱「拾い箱」です。海岸に漂着したごみを誰でもいつでも拾うことのできる仕組みです。

★参加者のコメントより★

・楽しく、そして勉強になる2日間でした。一人ひとりの力が大きな力になること、小さい離島が世界につながっていることに気づいた。今後の行動につなげていきたいです。

・鹿児島県出身ですが、鹿児島県の離島を訪れたのは初めてでした。鹿児島県にこんないいところがあることを知ることができて良かった。次は別の離島に行きたいです。

2日目午後

2日間のプログラム完了。ATR72を前に記念写真!



JACは今後もSDGsにつながるツアーを計画していきます。皆さまのご参加お待ちしております!

JAC40周年

5つの航空機とともに

JACは今年の7月1日でおかげさまで40周年を迎えます。
今回はJAC歴代航空機をご紹介します!!

JACの歴史の始まり

ドルニエ

最大座席数:19名
最大3機保有 1983~1995年
垂直尾翼には、現在運航しているATRと同じハイビスカスが描かれていました。
主な就航地
奄美・喜界・徳之島・沖永良部・与論



湿気が多い日はエアコンを使うと、冷気により機内下面が白い霧のようなもので覆われることがありました。
(飛行の安全には影響ありません)

夢を運んだ国産旅客機

YS11

最大座席数:64名
最大12機保有 1988~2006年
日本の民間航空会社としてはYS11の最後の運航会社となりました。
主な就航地
伊丹・徳島・隠岐・鹿児島・種子島・屋久島・奄美・徳之島・沖永良部・与論



各機体に機番 (JA0000)とは別になまえが付けられており、それぞれに愛着を持ち運航されていました。

機番	愛称
JA8777	せとうち
JA8781	くにさき
JA8788	おが
JA8763	えらぶ
JA8771	あきよし
JA8766	とくのしま
JA8717	あそ
JA8776	しれとこ
JA8759	だいせつ
JA8809	いこま
JA8768	りくちゅう
JA8805	いぶすき

令和の主力! エコな旅客機の代名詞

ATR42/72-600

最大座席数:48/70名
現在11機保有 2017年~現在
離島の自然を守るのに最適な、CO2排出量が多い少ないターボプロップ機!
主な就航地
伊丹・但馬・隠岐・出雲・福岡・松山・鹿児島・種子島・屋久島・奄美・喜界・徳之島・沖永良部・与論・那覇



この地図はJAC創設以来の主な就航地をあらわしています。
●...いままでの就航地
●...2023年4月現在の就航地



ペイントはオレンジ系の色だけでも14種類使用しています!!

コウノトリはデカール(シール)を貼り付ける方法で描かれています!!

特別塗装(デカール)機

JACのATR機には現在、機番JA01JC,02JCのハイビスカス号、JA05JCの但馬コウノトリ号、JA11JCのエコPROP号の3種類の特別塗装(デカール)機があります。
飛行機への特別塗装を行う代表的な方法にはデカール(シール)で貼り付ける方法とペイント塗装で行う方法の2種類があります。
JACの機体はこれまで、応募頂いた絵画を特別塗装した機体や、世界遺産登録を記念した特別塗装機など何十種類ものデザインで彩られて来ました!! 今後も様々な特別塗装機を楽しみにしていきましょう。

静かでパワフル

DASH8-400(Q400)

最大座席数:74名
最大11機保有 2002~2018年
JAC歴代航空機の中でも一番の速さを誇っていました。
主な就航地
千歳・新潟・松本・伊丹・隠岐・出雲・松山・福岡・宮崎・鹿児島・種子島・屋久島・奄美・徳之島・沖永良部・与論



このロゴは社員が作成したデザイン
→静かさ! パワーの力強さ! を表現しています!!



退役後も世界で活躍!

SAAB340B

最大座席数:36名
最大11機保有 1992~2021年
JAC退役後は貨物機へと改修され、海外でまだまだ活躍中です!!
主な就航地
伊丹・但馬・隠岐・出雲・米子・松山・高松・徳島・高知・岡山・広島西・福岡・長崎・大分・宮崎・鹿児島・種子島・屋久島・奄美・喜界・徳之島・沖永良部・与論



YS11, SAAB機ではルリーも描かれていました!!
ルリーは2000年にJACフェスティバルにて誕生したマスコットキャラクターです!!



各機種の Cockpit

時代のデジタル電子化に伴い航空機もデジタル化が進み、コックピットもアナログ計器から液晶ディスプレイへと姿を変え時代と共に変化してきました。

